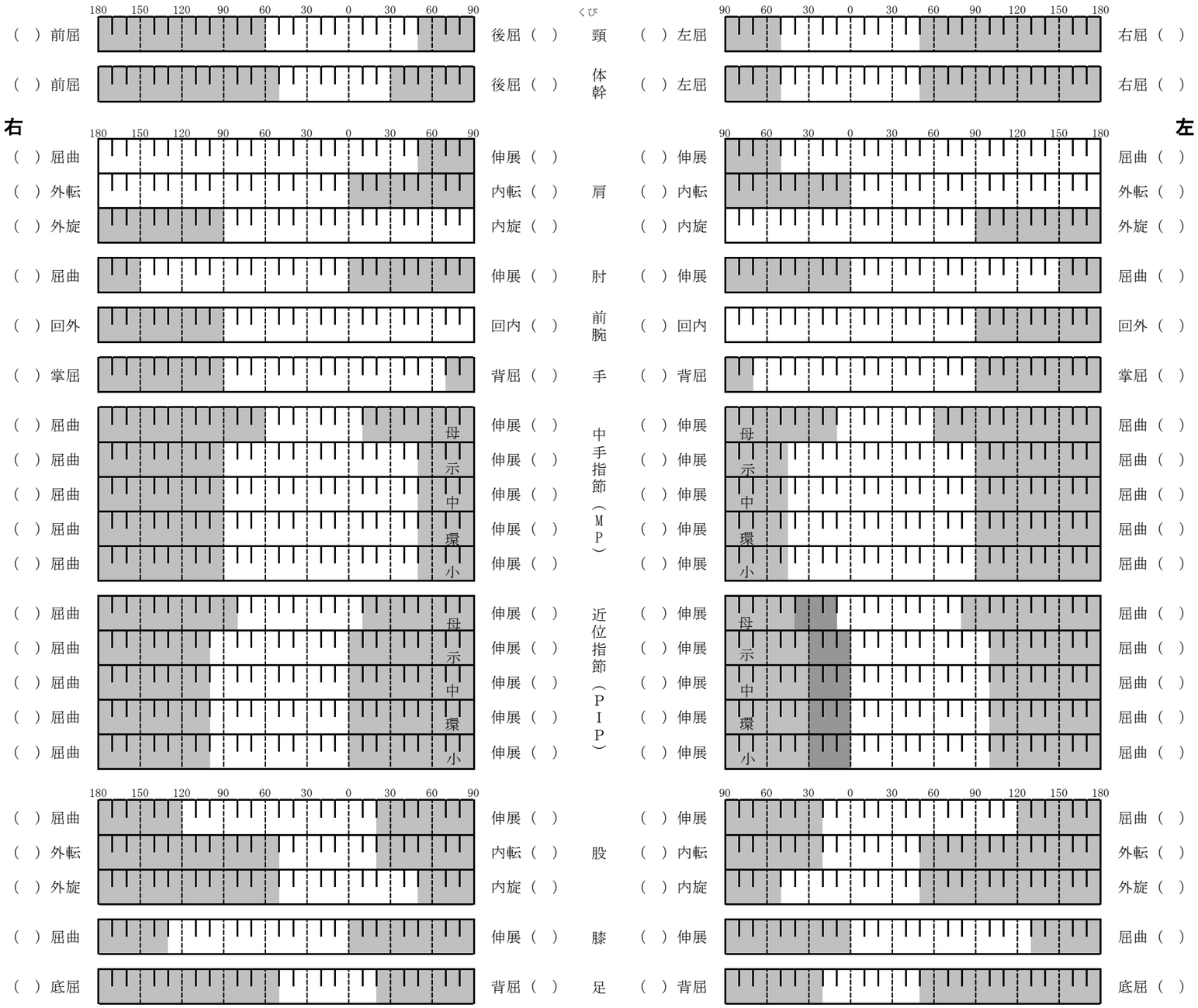
# 関節可動域（ＲＯＭ）と筋力テスト（ＭＭＴ）（この表は必要な部分を記入）

筋力テスト（　）　関節可動域　筋力テスト（　）　関節可動域　筋力テスト（　）




備　　考

（注）

1．関節可動域は、他動的可動域を原則とする。

2．関節可動域は、基本肢位を0度とする日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。

3．関節可動域の図示は、|←――――→| のように両端に太線を引き、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に波線（∽）を引く。

4．筋力については、表（　）内に×△○印を記入する。
×印は、筋力が消失または著減（筋力0・1・2該当）
△印は、筋力半減（筋力3該当）
○印は、筋力正常またはやや減（筋力4・5該当）

5．（ＰＩＰ）の項母指は（ＩＰ）関節を指す。

6．ＤＩＰその他手指の対立内外転等の表示は必要に応じ備考欄を用いる。

7．図中塗りつぶした部分は、参考的正常範囲外の部分で、反張膝等の異常可動はこの部分にはみ出し記入となる。

例示